



インスピレーションになる

厚木中ロータリークラブ週報



2018~2019 第1952回 2018.9.26 Vol.9

国際ロータリー第2780地区 第6グループ

会長：笹生 誠 幹事：五十嵐直樹 クラブ広報委員会 委員長：三平治憲

事務局 厚木市栄町 1-16-15 厚木商工会議所2F TEL：046-222-5811 FAX：046-222-5821



＝ 本日のプログラム ＝

卓話例会

卓話者：2780地区米山奨学委員会副委員長

矢野一博 様

— 会長挨拶・報告 —

【ビジター紹介】

綾瀬ロータリークラブ 中村明正様



地区米山奨学委員会副委員長 矢野一博様



矢野様にはまた卓話をお願いしたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

【会長報告】

ガバナー事務所より脇ガバナーより公式訪問のお礼がきております。10月のロータリーレート1\$=112円になっております。9月の北海道の地震で義援金の協力をお願いしたいということできております。7月の西日本豪雨の義援金の入金が一覧として挙がっております。公益財団法人ロータリー米山奨学会よりハイライト米山222号がきております。厚木商工会議所より創立70周年記念祝賀会のご案内がきております。尚、11/27(火)17:40レンブラントホテルで開催の予定です。厚木市役所から第9回アジア地域政府コミュニティ会議実行委員会の開催ということできております。これは出席ができますので、出席される方は申し込みをお願いいたします。暑さ寒さが厳しいでしょうけど、だいぶ涼しくなりましたので体調を崩さないように頂ければなと思っています。インフルエンザが流行っておりますので風邪には十分気を付けて頂ければと思っています。

— 幹事報告 —

厚木中ロータリークラブより例会の日程変更の連絡がきております。10/12（金）→14（日）に変更。第23神奈川ロータリークラブチャリティー野球大会、点鐘9時ということで伊勢原のサンシャインスタジアム。

本日理事会の終わりに次年度の会費に関して話し合われました。理事全員が好意的に進めていくということで、半年後くらいに皆さんに承諾を得られればと思います。

本日の理事会で10/3に来日されるメリッサさんのご家族に来日の記念品を贈ることが承認されました。また活動計画書の例会変更です。11月に堀米会員の歓迎会を行いたく11/14バイキング例会を夜間例会に変更しアーバンホテル9Fで行う予定です。

— お祝い行事 委員会報告 —

お祝いスマイル 藤川会員



記念日の発表です。本日会員誕生はございません。事業所開設は石川弘子会員10/1おめでとうございます。配偶者誕生ですが建部会員の奥様、美枝子様25日。26日黒木会員の奥様玲子様となります。結婚記念日10/1石川弘子会員です。

入会年月日ですが建部会員が平成4年9/30、そして吉川会員は平成6年10/1となります。

お客様のスマイル

矢野一博様「米山奨学委員会副委員長の矢野でございます。今日は米山の卓話にお伺いしました。不慣れでございますがよろしくお願い致します。」多額のスマイルを頂いております。

中村明正様「綾瀬町のもので。今日はありがとうございます」多額のスマイルを頂いております。

当クラブのスマイル

笹生会長、西副会長、山口昇会長エレクト、五十嵐幹

事、そして石川副幹事より「矢野一博様、中村明正様、ようこそ我がロータリーへ本日の卓話をよろしくお願いいたします」ということで頂いております。

佐々木尚壽会員、中野正義会員「地区米山奨学委員会副委員長長矢野一博様ようこそ、本日の米山月間、卓話をよろしくお願いいたします。綾瀬ロータリークラブ中村明正様ようこそいらっしゃいました」ということで頂いております。

山崎会員「矢野一博様、卓話ありがとうございます。所用で拝聴できません。よろしくお願いいたします」と頂いております。

石川弘子副幹事「結婚記念日にスマイルします。飯田さん思い出させていただき、また思い出させられました。ありがとうございました。」と頂いております。

■本日もスマイルにご協力有り難うございます。

委員会報告 五十嵐幹事

インターロータクトの委員長として報告させていただきます。前回にお願いをしたのですが、10月に厚木商業さんでポリオの募金をつのるバザーを行うということで何度か皆様にもお願いしているのですが、2000円～3000円程度の品物を頂けると助かります。これは生徒と教員から自主的に申し出をしていただきまして、委員長である私は非常に嬉しく思います。食品の方は遠慮させてもらいますが、今日もいくつか何人かのかたから品物を頂いております。どうもありがとうございます。なるべく多くの品物を生徒たちに渡したいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

— 卓話 —

卓話者紹介：佐々木会員



財団米山担当の佐々木です。先日、地区の方から卓話の派遣の依頼書がきましたので、早速地区の方へお届けしたところ、今日のような形になった

わけです。副委員長の矢野さんにお越しいたいて本

当にありがとうございます。お忙しいところを繰り合わせてお越し頂いたのだと思います。それと同時に財団の派遣依頼書も届きましたので、両方申し込んでおきました。財団の方はまだ返事ありませんけど、米山の矢野さんにはすぐにお返事いただきまして、感謝いたしております。楽しみにしておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

卓話：地区米山奨学委員会副委員長 矢野一博 様



みなさん、こんにちは。はじめまして。秦野中ロータリークラブ所属の会員でございます。今日は久しぶりにAG中野さん

にお会いしました。宜しく願い致します。私は秦野中ロータリークラブでございますけど、昨日私ども諮問委員会というのがございまして5人のなかで私が世話役になりまして次年度の副会長、副幹事を決める諮問委員会がございました。その中で今日の卓話がわかっていたのですが、優柔不断がありまして、文章があっちこっちいってしまっていて、少々聞き苦しいかと思いますが、お耳を拝聴いただきまして、私の米山委員会の内容について皆さんにお話しをさせて頂ければと思います。また、日頃から米山のご協力をいただきまして誠にありがとうございますお礼を申し上げます。厚木中RCさんには初めての参加でして、出会いという形の大切さをつくづく感じているところでございます。私のこのクラブ、今年の3/24に40周年記念を無事に済ませることができました。こちらにおいても40周年の記念をやられたのではと思います。お互いに40年経ちますことですね。私も会員になりまして37年になるのですね。私の一回り上の先輩と一緒に研修を受けた時に「おい矢野ちゃん、一緒にはいったのだから、ロータリーをやめるまで出席は100%するように努力しようよ」ということの内容と、例会出席の大切さを指導いただきまして、そのおかげで100%出席させていただきます。今私の先輩は84

歳、私は72歳になります。今ちょっと体調を崩しているのですが、私はいつも迎えにいて、それでお互いが助け合いながらロータリーライフを楽しむ間は頑張ろうと心に決めている2人であります。この入会当時の関係ですが、私が入会した当時は陰徳の精神で活動する指導でありました。ですから、いかに楽しくやって、それで色々な状況に得意になってやっていると先輩に注意をされるというね。今はこの広報と健全意識をもって、地域社会の中でともに歩む活動となりました。やはり変化をもたらすロータリーの意識ではないでしょうか。まず私は米山とはかけ離れたお話をしますけど、ロータリーの創始者ポールハリスさんは明治元年4/19生まれですよね。日本のロータリー創始者である米山梅吉です。明治元年2/4生まれでございますね。そして1905年にはポールハリス他3名で世界初のクラブ、ロータリーが創設されたわけです。日本では1920年米山梅吉により東京ロータリークラブが創立されました。時期を同じとして米山梅吉1946年昭和21年4/28に78歳で、ポールハリスも1947年昭和22年1/27に79歳で逝去されています。本当に不思議な縁の巡りあわせということではないでしょうか。9月は基本的教育と識字率向上月間でもございますね。前年度、財団創立50周年記念式典として米山梅吉生誕150周年の2018年2/4に都内で記念フォーラムと祝賀会を盛大に実施された中で2017年7/1米山記念奨学会は財団設立50周年を迎えたわけでございます。それでやはり歴史の中にございます。みなさんこちらの方の米山の豆辞典はお手元に届いていますね。この内容をみれば一番よくわかるわけでございますが、私の顔を見ながら、記憶の中に入れて頂ければありがたいと思います。そして公益財団法人の米山記念奨学会とはどういうことなのでしょう？ということですね、日本に在住している外国人、留学生に対し、日本のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給して支援して民間の奨学団体であります。奨学金の支給対象は日本の大学、大学院で学ぶ外国人留学生でございます。そしてロータリー米山記念奨学事業は日本のロータリーの創始者米山梅吉の美德を記念し、後世に残るよ

うな有益な事業を立ち上げたい1952年昭和27年東京ロータリークラブは奨学事業を立案し海外から優秀な学生を日本にまねき、勉学を支援する奨学事業米山基金の構想でした。まずこの事業の目的と使命につきましては米山記念奨学事業を通じてロータリーの奉仕の精神に基づいた国際理解と親善、および世界平和の促進でございます。学業、異文化の理解、コミュニケーション能力などを備えた優秀な奨学生、研究者の支援でございます。国際社会で活躍し、世界平和の維持に貢献できる奨学生の育成でございます。そして日本のロータリーの中で米山基金の前進は、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したいというロータリアンたちの強い願いがあったのであります。将来、日本と世界を結び懸け橋となって、国際社会で活躍してロータリー運動の良き理解者となる人材を育てることが事業の使命でもあります。そしてやがてそれは日本全国のロータリーの共同事業として発展し、1967年7/1文部省、現代の文部科学省の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

54年の歴史を持ち、世界に類をみない、日本独自の合同奉仕活動となっております。その後新公益法人制度が施行されることによって2012年1/4付けで新たに公益財団法人ロータリー米山記念奨学会としてスタートし現代にいたっております。米山記念奨学会の特色、これは皆さんお分かりになっていると思いますが、再度認識の中に入れてもらえればと思います。米山記念奨学会には奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。8/25土曜日に米山センターでカウンセラーの研修会が行われました。100名くらいの各クラブの方が熱心に私どもの米山の研修を受けて頂いたことについては本当にありがたいことと思っております。世話クラブの制度としては一つのクラブは一人の奨学生。米山記念奨学生は世話クラブの例会に月1度出席し、ロータリークラブ会員と積極的に交流して、国際交流を行い相互理解を深めるとともにロータリーの奉仕の心を学びます。世話クラブは奨学生の例会の

参加、奨学生の受け渡し、親睦、親善活動、奉仕活動への参加など行っております。カウンセラー制度は奨学生一人に対し世話クラブのロータリアンの中から一人がカウンセラーとなります。カウンセラーは奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。米山奨学生とロータリアンの交流は総合理解のみならず、相互にとって大事となるのであります。また米山記念奨学生の選考についてであります。選考方法は募集、および申し込みは指定校の留学生奨学金担当を通じて行われます。国内の34地区それぞれに選考委員会があり、独立性をもって選考をする。指定校による学内選考された留学生を書類審査、面接選考。原則としてはこのような感じでございますね。そして選考委員会によって決定いたします。選考の流れは申込書の提出から始まりまして、大学での選考。そして地区への申し込み。そして地区での選考。そして合格発表ということで今年度は来年4/6にオリエンテーションが行われまして、そこで認められた方が奨学生として一年を迎えるわけでございます。今、2780地区の指定校は19校でございます。そしてこの19校の中で2018年度の面接試験申し込み人数は37名でございます。4ブロックにわけて面接試験を行いまして、新規奨学生は合格者が16名を決定する厳しい関門になったわけです。ロータリーでは記念奨学会に助成金を請求できることもございまして、今新規採用人数は三倍までは一人につき8000円の補助がでます。そしてそれ以上につきましては一人7000円の補助が出るわけでございます。私どもの地区におきましても、やはり学友会の方にそしてまた少しでも活動できる資金づくりということで、できるだけ先生方に多くの学生の面接をやっていただけるように。そうしてまた優秀な方がやはりそこに現れていくのではないかと考えているわけです。今年度の各クラブの会員の皆さんの支援によりまして、新奨学生は18名、クラブ支援は2名おりました。そして海外応募者が1名、継続奨学生の14名、32名の米山記念奨学生が決まっております。また今度の9/29,30ですね一泊研修旅行を兼ねながら、30名と私どもの米山委員の皆様が積極的に参加していただきまして17名、だから40名以上の参加で米山梅

吉記念館で勉強しながら、研修旅行を行うことになっております。どちらにしても求められる米山奨学生の質は学業、異文化理解、およびコミュニケーション能力における熱意や優秀性であるという風に考えております。今年度の奨学生は現代2018年・2019年の全国採用数は854名、新規採用は602名、継続者152名となっております。私どもの2780地区奨学生は32名、新規採用と継続あわせて16名、14名の32名でございます。指定校の19校の中の13校の中から13か国の奨学生を迎え入れることができました。中国7名、ベトナム7名、韓国3名、モンゴル3名、台湾3名、マレーシア2名、エジプト、タイ、イラン、スリランカ、アフガニスタン、トルコ。こういう学生が現代の学業に精を出しているところでございます。そして2018年7/1現在、奨学生はこれまでに世界127か国と地域から20396人を支援しております。これからバラバラになっちゃうのですね。寄付の件でございますが、普通給付金は半期に一度各クラブで決まった規定分の金額を会員数分ご送金いただく決まりでございます。だいたい今の状況だと4000なにがしが平均になっています。そして特別給付金は任意で頂く寄付で、個人寄付、法人寄付、クラブ寄付の三種類ございます。特別寄付には表彰制度がありますが、累計額に応じた表彰制度があります。累計10万円で第1回米山功労者となります。累計が20万～90万までは第2～9回米山功労者マルチプルとなりますね。そして100万円で第10回米山功労者ウェザートナとなります。こういう制度があるわけでございます。すべての寄付金に税制控除が受けられるわけでございますね。今私ども当クラブでございますが、今度の地区大会で5000万円の達成クラブとして表彰を受けるというお話があります。そしてまた戻りますが、やはり指定校の中ということになりますと、この指定校推薦制度がございまして、地区が選定した指定校から優秀な学生を推薦してもらい、推薦された候補者を地区が面接選考するのであります。

そして地区奨励奨学金制度がございまして、これは大学・大学院以外の教育機関、短大・高専に在籍する留学生を対象としております。奨学金額は大学院生の半

額、一人の枠で二人採用になっています。近隣に大学のない地域にも世話クラブを入れるということでございます。今、このロータリー米山記念奨学会50年の歩みを再度みてみましょう。なかなか苦労された色々な危険の中で今の米山記念奨学会が設立された歴史がございます。

まずこの1952年に東京ロータリーが米山基金という構想を立案しました。そして1957年に全国組織として財団法人化を前提としたロータリー米山奨学委員会が発足しております。ですからやはり米山基金の名称から順々に歴史をたどっているわけですね。1959年に世話クラブ制度が設置されました、そしてロータリー米山記念奨学会を称されております。1967年に文部省から財団法人の許可を得て、財団法人ロータリー米山基金奨学会を設立し、カウンセラー制度も1971年から、同じ年度にカウンセラーと世話クラブの内容がうまれたわけではないということが理解できるということです。米山にたいする熱意というものが東京ロータリーを軸に生まれているわけです。2002年4月から大学推薦制度に移りました。2007年日本全地域によるロータリーの奉仕活動としての手続きが採用されました。2008年ホームカミング制度が確立し、2017年の財団設立50周年を迎えることになりました。こういう経緯でございます。今私どもの2780地区の米山委員会のスケジュールをご報告させていただきます。7/3指定校説明会を行いまして、19校の担当される方の推薦を頂きまして次年度の説明を差し上げました。7/8クリーンキャンペーンは207名の参加を頂きました。盛大に楽しくクリーンキャンペーンを行うことができました、8/25米山セミナー、カウンセラー研修会を行わせていただきました。そして9月土日には一泊研修が行われまして、9/14地区大会がございましてお茶サービスが好評でした。学友・奨学生の皆さんが汗を流したことを喜んでおりました。11/18国際交流会の催しをさせて頂くので、ぜひ奨学生とお国自慢の料理を皆さんに召し上げて頂けるよう、出席していただくとありがたいです。場所は委員長が今悪戦苦闘しておりまして、できるだけ負担をかるくして、その分料理にかえると

いう考え方でやっております。場所は未定ですが、11/18はぜひおいでください。1/13は奨学生の面接試験を実施させていただきます。2/17は終了式となります。そして新年度を迎えた皆さんには4/6にオリエンテーションを行う予定です。現在、米山奨学委員会、学友委員会、推進委員会が新しくできまして21名の新しい皆さんでやっています、たのしくみんなで活動しようということでございまして。毎回熱心に金曜日17時～19時10分、15分まで皆さん色々企画の中に意見を出してもらっています。そのあとは無礼講の懇親会があります。みなさん出席なのですね。こんな形でたのしく活動しております。この学友会も現代、日本には33、海外には9つの計42の学友会がございます。海外では台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマーでございます。受け入れやすい時期に奨学生、学友との交流を深めてもらい、クラブのロータリアンと米山奨学会の意識が高められるようご支援をよろしくお願いいたします。10月には米山月間でございます。奨学生をいかに多く採用することも大切であります、これからは事業を充実させることを重点におきまして

ロータリアンの力を結集し、世界平和に貢献したいと考えております。国際奉仕として重要性を認識し、そして認識していただき米山奨学会にお力を添えて頂き、クラブ会員の皆様のご支援を切にお願い申し上げます。つたない卓話になりましたので米山奨学会豆辞典を参考にいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。また、厚木中ロータリークラブの皆様のご活躍を心より念じましてご清聴ありがとうございますということで締め切らせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

謝辞：笹生会長

矢野さんありがとうございました。当クラブでも二年前に台湾からレイティさんが厚木東高校にきておられて、二軒の家にお世話になりました。そしてお世話になった家のお嬢さんが台湾に行っていて、今年帰ってきます。当クラブもそういったところで応援させてもらっていますね。先週9/1に長塚レイウさんを連れて行ってきましたけど、元気で活発な発言をされていて、一年いたところの勉強もだいぶできていました。非常に良かったという気持ちです。



一例会スケジュール

点鐘 12:30

会場 レンブラントホテル厚木

《出席率》

日時	内容	担当	会員数	欠席者数
10/3	クラブ協議会	会長	29名	2名
10/10	休会			
10/13,14	地区大会 (鎌倉パークホテル・茅ヶ崎市民文化会館)	ホスト・茅ヶ崎湘南RC	出席率	前々回修正出席率
10/17	地区大会報告	会長	91.30%	86.36%
10/24	次年度理事役員選考・10月度理事役員会	会長		